



▲海に親しんだ感想を書いた短冊を、紙風船に付けて、空高く飛ばしました(二江)

## 豊かな海をいつまでも大切に！

海べたエコエコウォーク

海の日7月21日、「海べたエコエコウォーク2008」が五和町で開催され、県内外から約200人が参加しました。この催しは、豊かな海に触れ、海の大切さを知ってもらおうと、五和まちづくり協議会(松下修二会長)が主催したものです。当日は、早崎瀬戸海域に面する御領・鬼池・二江の地区振興会が各地域の海岸を会場に、シーカヤック体験やウミガメの卵の観察、海の生態教室、貝がらなどを使ったクラフト教室などの海の特色を生かした催しや、海岸清掃を実施し、参加者は海の日1日を満喫。また、海に親しんだ感想を書いた短冊を、環境にやさしい紙風船に付けて空高く飛ばしました。数日後、大分県日田市天瀬町や山鹿市鹿北町などから、風船を受け取った返事などが書かれた温かい便りが届きました。



▲シーカヤックの乗船講習を受ける参加者(御領)



▲ウミガメの卵を観察(鬼池)

## 棒受網漁と海の幸を堪能！

いさり火探検

天草宝島観光協会・牛深支部主催の「いさり火探検」が8月2日と同14日の2回、牛深港沖合で実施されました。2日の同探検には約300人が参加。午後8時に漁場を目ざしてフェリーで牛深港を出港。漁場では、集魚灯で集めた魚を、潮の流れと水中灯を利用し、網の中におびき寄せ一網打尽にする「棒受網漁」を見学しました。船上では、牛深ハイヤ保存会による牛深ハイヤ踊りを楽しみながら、漁でとれた新鮮な魚のバーベキューを堪能していました。



▲迫力満点の「棒受網漁」を見学する参加者

## 小さな港から世界平和を祈る

教会の見える崎津みなとのフェスティバル

8月2日、「第20回教会の見える崎津みなとのフェスティバル」が崎津漁港広場一帯で開かれました。これは、地域の活性化を図ろうと同実行委員会(幸川壽之・委員長)が毎年開催しているものです。このイベントでは、世界平和への祈りが捧げられた後、餅投げや地元住民による崎津ハイヤ道中踊り、富津小学校の児童による和太鼓演奏などが実施されました。また、辺りが暗くなると、崎津教会のライトアップのほか、1,000発の花火が打ち上げられ、約3,500人の見物人を魅了しました。



▲力強いバチさばきを披露する富津小学校の児童の皆さん

## 真夏のビーチを満喫

砂月海水浴場祭り

7月27日、「砂月海水浴場祭り」が牛深町で開催され、家族連れなど約300人が各種イベントを楽しみました。この祭りでは、砂浜に埋められたカプセルを探して商品をもたらす「宝探し」やコーラの一気飲み、スイカの輪投げが行われたほか、ビーチフラッグではスタートの合図とともに旗を目標けて猛ダッシュする出場者に、大きな声援が送られていました。また、タコのつかみ取りでは、網で仕切った海の中にタコが放たれ、参加者は吸い付いてくるタコに声をあげながらつかまえていました。



▲スイカの輪投げを楽しむ参加者

# 夏の思い出 in 天草 2008

厳しい暑さが続いた今年の夏、皆さんは何をして過ごしましたか？市内各地では、さまざまな楽しいイベントが開催され、多くの皆さんが夏の天草を満喫していました。皆さん、たくさんの思い出をつくれたことでしょう。今回は、夏の天草で開かれた各種イベントのようすを紹介します。

## 天草ほんどの夏の夜を楽しむ！

天草子ハイヤ・花火大会

天草ほんどハイヤ祭り2008の催しの一つとして、「天草子ハイヤ道中総踊り」と「天草ほんど花火大会」がそれぞれ開催されました。

8月2日に本渡地区の中心街で開かれた「天草子ハイヤ道中総踊り」には、17保育園・幼稚園の園児ら約1,000人が参加。各チームおそろいの法被を着用した子どもたちは、コースに打ち水をした後、元気いっぱいのかわいらしいハイヤ踊りを披露しました。また、沿道では保護者らがカメラやビデオを手に、子どもたちを追いかけながら懸命に撮影していました。

翌3日には、「天草ほんど花火大会」が本渡港一帯で開催されました。同大会では、扇形の花火の上にたくさんの星形の花火が開く新作花火など7,000発の花火が天草ほんどの夏の夜空を鮮やかに彩り、見物人を魅了。短時間に多くの花火が打ち上げられたり、直径約400mの大玉花火が大輪の花を咲かせたりすると、大きな拍手や歓声があき起こっていました。

なお、天草ほんどハイヤ祭り2008のフィナーレを飾る「天草子ハイヤ道中総踊り」は、10月12日(土)午後1時から、天草市役所本庁～天草信用金庫本店(国道324号)のコースで開かれます。皆さん、ぜひお楽しみください。



▲子どもたちが元気いっぱいの踊りを披露！



▲7,000発の花火が夏の夜空を彩りました